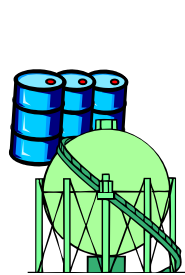


EN-S-001:ボイラーの導入

- 【削減方法】 ● 効率のよいボイラーを導入することにより、化石燃料の使用量を削減する。
- 【適用条件】 ① 更新前のボイラー又は標準的なボイラーよりも、効率のよいボイラーを導入すること。
② ボイラーで生産した蒸気又は温水等の熱の全部又は一部を自家消費すること。
- 【ベースライン
排出量の考え方】 ● プロジェクト実施後のボイラーによる生成熱量を、ベースラインのボイラーから得る場合に想定されるCO2排出量。
- 【主なモニタリング項目】 ● プロジェクト実施後のボイラーにおける燃料使用量
● プロジェクト実施後のボイラーの効率
● 更新前のボイラー又は標準的なボイラーの効率

【方法論のイメージ】

ベースライン



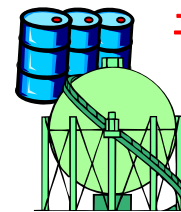
重油
都市ガス等



更新前のボイラー
又は
標準的なボイラー
(効率=85%)

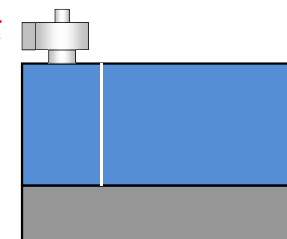


プロジェクト実施後



重油
都市ガス等

ベースラインより
エネルギー使用量が
削減される。



高効率ボイラー
(効率=90%)